

(別紙)

令和6年9月定例会議 一般質問

3番議員 石田 史行

高齢者の移動手段の確保策を問う

移動手段の確保が難しい高齢者にとって、現在町が社会福祉協議会に委託運営する「福祉コミュニティバス」事業は一定の意義と成果が認められるものの、平成29年度の本格実施から7年目に入り、この間様々な改善を重ねているにも関わらず、町民の評価はあまり芳しくないのが現状である。主な利用者である高齢者の声をしっかり拾い、利用者数を一層増やし、満足感を持っていただける運営に努めることが大切であり、まずは「福祉コミュニティバス」事業のこれまでの取り組みの総括と今後の事業運営の方向性を伺いたい。

また、全国で高齢ドライバーによるアクセルとブレーキの踏み間違えなどが原因となり痛ましい死傷事故が多発する一方で、運転免許証の返納が低迷している現状がメディア等で報じられている。本町の高齢者の免許返納を促すという意味においても、高齢者の移動手段の確保策は喫緊の課題であり、現状の「福祉コミュニティバス」事業だけでは不十分であり、新たな取り組みや仕組み作りが早急に必要と考えるが、町長の見解を伺いたい。